

がくほくしよぼう

広報No.102
令和2年12月発行



十日町地域消防本部と合同訓練を実施

岳北消防本部と新潟県十日町地域消防本部は、隣接する栄村と津南町の一部地域における災害出動について、相互応援協定を結んでいることから、10月20日に津南町の山林において合同救助訓練を実施しました。当日は、「崖下に転落した人が助けを求めている」との想定のもと、両消防本部の隊員が協力して救出訓練を行い、互いの救出方法や資機材を確認することで共通認識を高め、更なる連携強化に繋がる有意義な訓練となりました。今後も様々な訓練を実施し、住民の安心・安全を守っていきます。



消防署から新型コロナウイルスに関するお知らせ

岳北消防本部では、今年の1月から感染防止対策を徹底し、救急活動を行っています。岳北消防本部管内における新型コロナウイルス感染症を疑う傷病者の搬送件数は、1月から10月までの時点で177件ありましたが、病院搬送後に陽性と診断された事例はありません。

また、119番通報を受信した際は、発熱の有無、呼吸器症状（咳、息苦しさ、のどの痛み等）、本人・家族の流行地域への往来等について聴取する場合がありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



これからの寒い季節は「ヒートショック」にご注意を！

ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所へ移動した時に、体内の温度変化によって、急激に血圧が上下することで引き起こされる疾患のことを言います。意識障害、不整脈、脳梗塞、心筋梗塞などが発生しやすい状態となり、最悪の場合死に至ることもあります。高齢者は特に注意が必要です。

予防と対策方法

1 脱衣所と浴室を温める

入浴前に浴槽のお湯やシャワーの蒸気で浴室を温めておきましょう。

2 お風呂の温度を41℃以下に設定をする

42℃以上の温度では入浴直後に血圧が大きく変動するという結果がでています。

3 声掛けをする

家族で声を掛けあい、入浴中の方を気にかけてあげましょう。

4 ゆっくりとお風呂から出る

急に立ち上がると血圧が急激に下がり、失神・転倒のリスクが高まります。



暖房器具の取り扱いに注意しましょう

近年、火を使用せず、電気を利用して部屋を暖める「オイルヒーター」や「シーズヒーター（電熱線を使用したヒーター）」を使用するご家庭が増えています。

しかし、この暖房器具は使用する電気量が大きいいため、火災の原因になりやすく、岳北消防本部管内でも間違った使用方法により、住宅火災が発生しています。

次のとおり、正しく安全に使用し、火災が発生しないよう注意しましょう。

1 ヒーターのコンセントは、壁面コンセントの1番上に直接接続し、下のコンセントは併用しないこと。

併用すると、電気容量オーバーとなる場合があります、発火の原因になります。

2 延長コード（テーブルタップ）は使用しない。

延長コードやテーブルタップでヒーターを使用すると、コンセントが異常に発熱し、発火の原因になります。



電気容量を超えて発火し、焼けてしまったコンセント



岳北消防本部管内で実際に発生した火災の写真
焼けてしまったテーブルタップと、ヒーターのコンセント

ホームタンクの点検はお済みですか？

令和元年度、岳北消防本部管内では25件の油漏れ事故が発生しました。

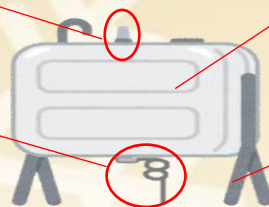
灯油などが漏れると、河川に流入し水質汚染や魚類・農作物の被害に影響を及ぼすほか、火災の危険性があります。油漏れ事故を未然に防ぐため、燃料タンク・配管等に異常がないか、定期的に自主点検を行いましょう。

1 灯油の残量が不自然に減っていませんか？

残量をこまめに確認することで、灯油漏れや盗難などのトラブルをいち早く発見できます。

2 ストレーナーカップや配管に穴やひび割れはありませんか？

ストレーナーカップや配管が老朽化して亀裂が入り、そこから灯油が漏れることがあります。定期的に確認しましょう。



3 灯油タンク本体に穴などあいていませんか？

老朽化によるサビ等が原因で灯油タンク本体（特に底部）に穴があくことがあります。定期的に確認しましょう。

4 灯油タンクを固定していますか？

積雪や強風などにより転倒する恐れがあります。しっかり固定されていることを確認しましょう。

岳北消防本部

【お問い合わせはこちら】

■飯山消防署
■野沢分署
■栄分署
■ホームページ

TEL 62-0119 FAX 62-3347

TEL 85-4119 FAX 85-3050

TEL 87-1119 FAX 87-1120

<http://www.iiyama-catv.ne.jp/~gakuohoku/>